

# リアルワールドデータで創る 新しいエビデンス：デザインと統計の最前線

日常診療で得られるリアルワールドデータ（RWD）の活用は、臨床研究の重要な選択肢として拡大している。

従来のRCTは内部妥当性に優れる一方、厳格な組み入れ基準や被験者の行動変容により一般化が困難である。

本講演では、RWD解析の基盤となるターゲットトライアルエミュレーションの考え方を紹介し、対象集団・曝露・観察期間の定義、不死身時間バイアスや交絡の対処など、解析上の重要なポイントを解説した。

さらに、多変量回帰、傾向スコア法、逆数重み付け（IPTW）などの手法の特徴と限界を示す。

医師の働き方改革が進む今日、RWDを適切に扱うことは、限られた時間で質の高い臨床研究を推進する上で極めて有用である。

大阪公立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学

教授

川口 知哉

2026

1/29 (木)

17:00～18:00

大阪公立大学大学院医学研究科 医療統計学

教授

新谷 歩

ハイブリッド開催

会場 【現地参加】大阪公立大学大学院医学研究科 学舎4階 小講義室1  
(大阪市阿倍野区旭町1丁目4番3号)

【WEB参加】Zoom

要申込

下記URL または QRコードよりアクセスして頂き、

専用申込フォームに必要事項をご記入の上、お申込み下さい

申込方法 Zoom URLは、参加登録いただいたE-mail宛に自動送信されます  
※当日申し込みでもご参加いただけます

URL <https://omu.info/ymbwpxf>



主催  
お問い合わせ

阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン  
大阪公立大学大学院医学研究科 がんプロ事務局  
Email: gr-med-ganpro@omu.ac.jp